

平成 22 年 3 月改訂(第 2 版)

製品コード:76511

研究用試薬

下痢性病原体遺伝子増幅用標準 DNA セット

MORA-DNA

Diarrheal pathogens

取扱説明書

包装量	2 本 (8 ウェル使用 × 10 回分)
容量	各 50 μ L
貯法	-20°C以下
有効期間	1 年間

1 : 使用目的

MORA-Primer Diarrheal pathogens を使用する際の陽性コントロールに用います。

2 : 内容

表 1 に示した検出対象の陽性コントロール用 DNA ミックス 10 回分が、それぞれのチューブにセットになって入っています。

表 1

MORA-Primer Diarrheal pathogens				
チューブ	病原体名	和 名	検出対象	増幅領域の サイズ (bp)
(A)	Enteroinvasive <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管侵入性大腸菌/赤痢菌	InvE (<i>virB</i>)	127
	Enterotoxigenic <i>E. coli</i>	腸管毒素原性大腸菌(ETEC)	LT	297
	Enteroinvasive <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管侵入性大腸菌/赤痢菌	<i>ipaB</i>	137
	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	腸炎ビブリオ菌	<i>tdh</i>	368
	<i>Vibrio cholerae</i>	コレラ菌	CT (<i>ctxA</i>)	494
	<i>Yersinia</i> group	エルシニア属菌群	16S rDNA	316
	Enteroinvasive <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管侵入性大腸菌/赤痢菌	<i>ipaH</i>	117
	<i>Salmonella</i> spp.	サルモネラ属菌	<i>invA</i>	422
(B)	Enteroinvasive <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管侵入性大腸菌/赤痢菌	InvE (<i>virB</i>)	127
	Enterohemorrhagic <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管出血性大腸菌(EHEC)	Shiga 1 (<i>stx-1</i>)	376
	Enterohemorrhagic <i>E. coli</i>	腸管出血性大腸菌(EHEC)	Shiga 2 (<i>stx-2</i>)	272
	<i>Escherichia coli</i>	腸管毒素原性大腸菌(ETEC)	ST1	171
	<i>Vibrio cholerae</i>	コレラ菌	CT (<i>ctxA</i>)	494
	<i>Campylobacter jejuni</i>	キャンピロバクター・ジェジュニ	<i>cdtA</i>	107
	Enteroinvasive <i>E. coli</i> / <i>Shigella</i>	腸管侵入性大腸菌/赤痢菌	<i>ipaH</i>	117
	Enterotoxigenic <i>E. coli</i>	腸管毒素原性大腸菌	EAST1	173

溶媒:滅菌 20%グリセリン/TE バッファー

3 : 使用法

1) PCR 反応液組成 (例)

酵素、基質およびバッファーを購入 (*TaKaRa Ex Taq*[®] Hot Start Version を推奨致します) して、PCR 反応液を調製します。

10 x <i>Ex Taq</i> Buffer	20 μ L
dNTP mixture (2.5mM each)	20 μ L
<i>TaKaRa Ex Taq</i> HS	1 μ L
MORA-DNA (標準 DNA) A- 又は B-mix	5 μ L
再蒸留水	104 μ L
<hr/>	
全量	150 μ L

2) 上記 1) の要領で調製した反応液を、新しい 8 連 PCR チューブ等の 8 チューブ (ウェル) に 15 μ L ずつ分注します。(MORA-DNA は 0.5 μ L/チューブになります。)

3) MORA-Primer Diarrheal pathogens の 8 組 (8 連) のプライマーセットを融かし、2) のチューブ (ウェル) に 5 μ L ずつ加え (反応液合計 20 μ L)、フタをしてサーマルサイクラーにて増幅させます。サーマルサイクリング条件については、MORA-Primer Diarrheal pathogens 取扱説明書をご覧ください。

4 : 結果

MORA-Primer Diarrheal pathogens の各プライマーおよび酵素等の増幅系が全て正しく働いていれば、各チューブ (ウェル) の PCR 産物を電気泳動すると表 1 に示された長さのバンドが認められます。

尚、本製品は複数の DNA 混合物であるため、条件により 1 レーンに 2 つのバンドが出る場合がありますが、想定された長さのバンドが認められることを確認して下さい。

5 : 注意事項

- 1) 本製品の有効期間は、初回融解後の凍結融解、保存の仕方により異なります。
- 2) PCR (polymerase chain reaction) に関する基本特許は F. Hoffman-La Roche 社が保有しています。本取扱説明書の記載内容はPCRに関する特許の使用許可を示唆するものではありません。
- 3) 本製品のキャップは、A-mix が赤色、B-mix が黄色になっています。使用后、フタを閉める際に間違えないよう注意して下さい。
- 4) 本製品の基本使用量は、0.5 μ L / 20 μ L 反応液 / チューブです。使用量をある程度増やすことは可能ですが、少ないと検出が不利になるものが生じます。又、検出できないものが出てくる時は酵素又はDNAの劣化が考えられますが、DNA および酵素 (*Taq*) 量を増やすと良い場合があります。

製造元:

AMR Advanced Microorganism Research

エーエムアール株式会社

〒501-1111 岐阜県岐阜市大学北 2-210 - 1

電話番号 058 (293) 0610 FAX 058 (234) 2487